

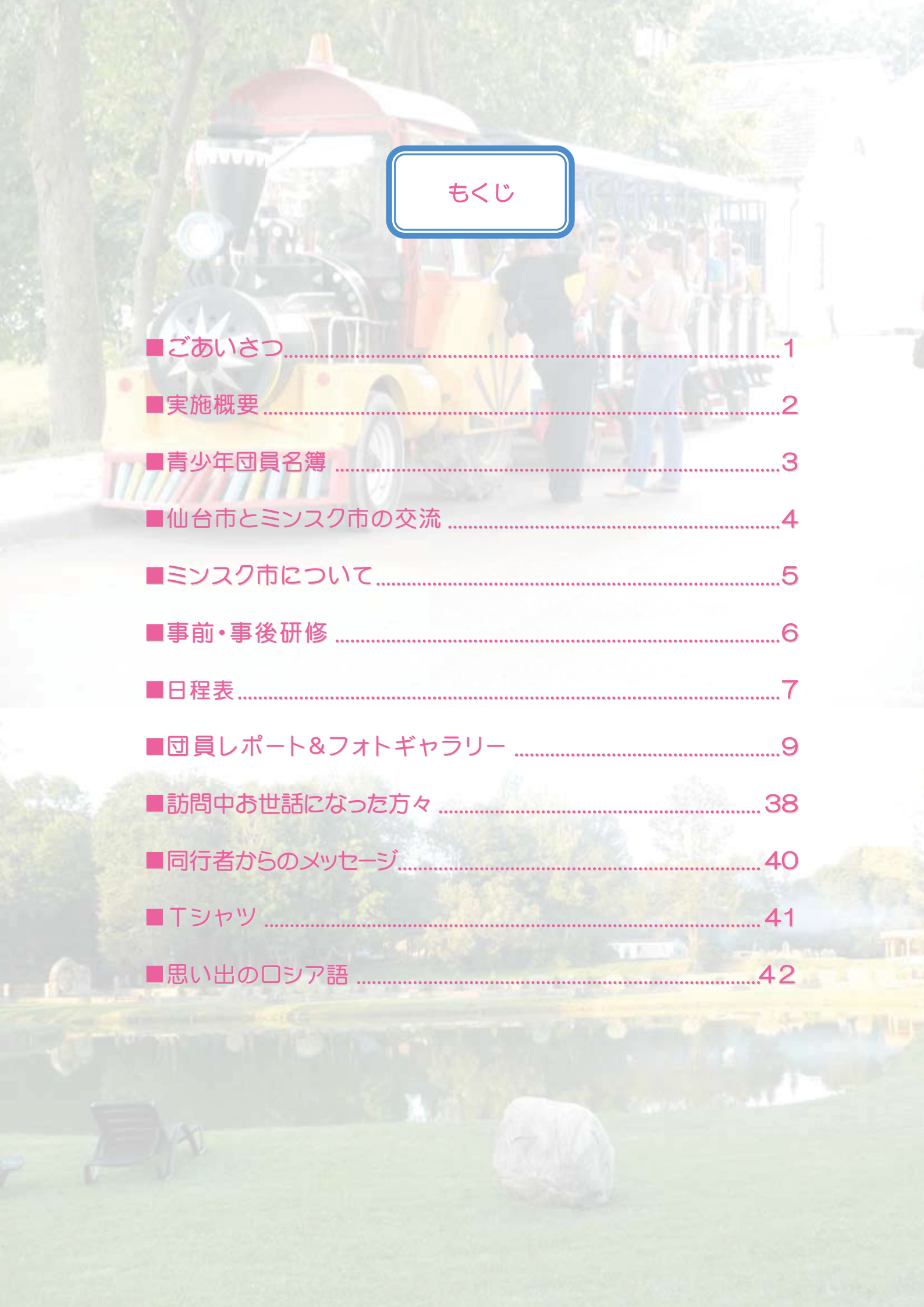
森と湖のまち・ミンスク 平成 25 年 8 月 1 日～8 月 10 日

青少年訪問団 報告書



【主催】 仙台市

【実施団体】 公益財団法人 仙台国際交流協会

The background of the page is a faded photograph. The top half shows a yellow and red steam locomotive with a large black smokestack, moving along a track. Several people are standing near the train. The bottom half shows a calm lake reflecting the surrounding green trees and a small building in the distance. A large, smooth rock sits on the grassy bank in the foreground.

もくじ

■ごあいさつ.....	1
■実施概要	2
■青少年団員名簿	3
■仙台市とミンスク市の交流	4
■ミンスク市について	5
■事前・事後研修	6
■日程表	7
■団員レポート&フォトギャラリー	9
■訪問中お世話になった方々	38
■同行者からのメッセージ.....	40
■Tシャツ	41
■思い出のロシア語	42

ごあいさつ

今年は仙台市とミンスク市が国際姉妹都市となって、40 周年の節目を迎えました。これまで両市の間では公式訪問団や市民訪問団の相互訪問、仙台国際ハーフマラソンへのミンスク市選手団の招待、協定に基づく学校間の交流活動など、様々な実績が積み重ねられ、交流が深められてきました。殊にチェリノブイリ原子力発電所事故や東日本大震災など両市が厳しい試練に直面した時、お互いが支援の手を差し伸べ、助け合いながら歩んできたことは、40 年の交流の歴史を振り返る上で特筆すべきことではないでしょうか。

今回の青少年訪問団のミンスク市訪問は、東日本大震災直後の平成 23 年 8 月を初回とし、翌平成 24 年 7 月～8 月の 2 回目に続き、3 年連続で 3 回目の訪問となりました。初回と 2 回目の訪問は、ミンスク市より「被災して困難な状況にある仙台の子ども達に私達のまちを訪れて笑顔になって欲しい」とのお申し出を受けて実現したのですが、今回は、姉妹都市提携 40 周年を記念した取り組みの 1 つとして、6 月にはミンスク市の青少年が仙台市を訪問し、8 月には仙台市の高校生がミンスク市を訪問するという形で、初めて相互訪問が実現したものです。

こうした取り組みの中で、同年代の人々との交流や互いの生活や文化に直接触れる経験を通じ、仙台とミンスクの青少年の相互理解が深まり、友情が育まれていると感じています。今後とも両市の次代を担う青少年の交流が活発に行われ、交流の輪がさらに広がっていくことを心から願っております。

最後になりましたが、私達を温かく迎え入れていただき、ご尽力いただきましたミンスク市側の関係者はじめ、献身的にサポートしてくれた現地のボランティアの皆様、心から感謝を申し上げます。また、事前の研修をはじめ、今回の訪問団派遣にご協力頂きました宮城・ベラルーシ協会の皆様、仙台市側の関係者の皆様にも厚く御礼申し上げます。

平成 25 年 11 月

公益財団法人 仙台国際交流協会 副理事長
守 修一

実施概要

趣 旨	仙台市の国際姉妹都市であるミンスク市に高校生を派遣し、現地の青少年との交流や市内見学、日本文化の紹介などを通して、異文化理解を深める機会とする。また、震災後にいただいた支援への感謝や現在の仙台の状況を伝える機会とする。
訪 問 先	ベラルーシ共和国 ミンスク市
実施時期	平成25年8月1日（木）～8月10日（土） 8泊10日
主 催	仙台市
実施団体	公益財団法人 仙台国際交流協会
協 力	宮城・ベラルーシ協会
参加人数	青少年12名、同行者2名
募集対象	仙台市にお住まいか通学している高校生等（平成25年4月2日現在で15歳～18歳の方）で下記の条件を全て満たす方 ※応募多数の場合は仙台市にお住まいの方を優先。 ①心身ともに健康であること。 ②国際交流、異文化理解に関心があり、訪問の趣旨を理解・賛同し、団体行動に参加可能であること。 ③定められた日程・旅行条件で参加できること。 ④事前研修に参加できること。 ⑤保護者の承諾を得ていること。 ⑥過去に仙台国際交流協会が主催した海外派遣事業に参加していないこと。
事前研修	第1回 平成25年6月23日（日）両市の交流について、ツアー概要確認 第2回 平成25年7月13日（土）ロシア語レッスン、日本文化発表の話合い 第3回 平成25年7月20日（土）ベラルーシ文化・習慣について、出し物の練習
事後研修	平成25年8月24日（土） ツアーの振り返り、報告書作成、ラジオ収録
報告会	平成25年9月15日（日）せんだい地球フェスタにて発表

◆青少年団員名簿

番号	名前	ひらがな	性別	所属	学年
1	三輪 侑紀（団長）	みわ ゆうき	女	仙台二華高等学校	2
2	高橋 澄香（副団長）	たかはし すみか	女	仙台二華高等学校	1
3	勝又 日路	かつまた ひろ	男	泉松陵高等学校	1
4	菊地 彩夏	きくち あやか	女	常盤木学園高等学校	2
5	佐伯 美郷	さえき みさと	女	仙台青陵中等教育学校	4
6	佐藤 汐音	さとう しおね	女	泉館山高等学校	2
7	菅 智佳	すが ちか	女	聖ドミニコ学院高等学校	1
8	鈴木 ひかり	すずき ひかり	女	仙台育英高等学校	1
9	高橋 郷	たかはし さと	女	仙台南高等学校	2
10	竹内 匠平	たけうち しょうへい	男	尚絅学院高等学校	1
11	玉田 南	たまだ みなみ	女	仙台青陵中等教育学校	4
12	藤田 真帆	ふじた まほ	女	仙台第三高等学校	2



◆同行職員

番号	名前	ひらがな	性別	所属
13	守 修一	もり しゅういち	男	（公財）仙台国際交流協会 副理事長
14	椿 栄子	つばき えいこ	女	（公財）仙台国際交流協会 総務企画課 企画係



仙台市とミンスク市の交流

姉妹都市提携

1973 年（昭和 48 年）4 月 6 日

【姉妹都市提携共同
コミュニケ交換の様子】



提携の動機と経過

1962 年（昭和 37 年）日ソ協会の招きによりソ日協会事務局長が来仙の際、仙台市とソビエト連邦の都市との姉妹都市提携が話題となり、当時白ロシア共和国の首都であったミンスク市が推薦されました。その後、文書、資料の交換などを経て、仙台市代表団 10 名がミンスク市を公式訪問し、姉妹都市提携が成立した。

主な交流経過

- 1973 年（昭和 48 年）の国際姉妹都市締結以降、数年ごとに公式訪問団や市民訪問団が相互の都市を訪問。
- 1986 年（昭和 61 年）チェリノブイリ原発事故の際、仙台市民から医療機器などのベラルーシ支援を行って以降、市民活動がより活発となる。
- 1995 年（平成 7 年）仙台市とミンスク市の友好を深めるために「宮城・ベラルーシ協会」発足
- 両市の交流にちなんでミンスク市内中心部の公園を「仙台公園」と命名。宮城・ベラルーシ協会を中心とした市民訪問団がミンスク市を訪れ、2002 年（平成 14 年）に「友好の時計」を寄贈、2007 年（平成 19 年）に桜の苗木を植樹した。
- 仙台国際ハーフマラソンに、国際姉妹・友好都市の招待選手として毎年ミンスク市から選手団が参加。
- 八木山南小学校ではミンスク第 19 番学校の姉妹校として、毎年ミンスクからの来仙者と交流している。
- 東日本大震災で被災したことを受け、ミンスク市から仙台市の子ども達が招待される。2011 年（平成 23 年）は高校生訪問団、2012 年（平成 24 年）は小学生訪問団がミンスク市に招待された。
- 2013 年（平成 25 年）6 月、姉妹都市提携 40 周年を記念し、ミンスク市から青少年訪問団が来仙。仙台市や近郊の名所、被災地、市内の高校等を訪問し、市民と交流した。



八木山南小学校を
訪問するミンスクのマ
ラソン選手



2013 年 6 月被災地を
訪問するミンスクから
の青少年訪問団

2011 年ミンスク
小学生訪問団



2007 年仙台公園に
桜の苗木を植樹



～訪問地紹介～ ミンスク市について

ミンスク市は、ベラルーシ共和国の首都です。ミンスクは 1067 年の年代記に初めて言及され、940 年以上の長い歴史と伝統を持っています。姉妹都市提携時は旧ソ連の白ロシア・ソビエト社会主義共和国でしたが、1991 年に独立。ベラルーシ共和国の成立により同国の首都になりました。

ミンスク市はベラルーシ共和国の首都であると共に、旧ソビエト連邦の各共和国から成る独立国家共同体（CIS）の首都機能も果たしています。

第二次世界大戦期には、戦場となり壊滅的な打撃を受けますが、戦後著しい復興をとげ、自動車やトラクターなどの生産が盛んな工業都市として生まれ変わりました。広々とした通りと広場が多いよく整備された町並みが広がっており、大学や研究機関、バレエや劇場などの文化施設が数多く立地する学術・文化都市でもあります。

また、緑の多い都市でもあり、沢山の公園や庭園があります。国内に 10,000 以上あるといわれる数多くの湖が美しい自然を織なし、「森と湖のまち・ミンスク」ともいわれています。

ミンスク市データ



人口：約 200 万人(2013 年)

日中平均気温：

冬(2 月) -4.4℃ 夏(7 月) 18.5℃

年間降水量：690mm

日本語学科のある大学：ベラルーシ国立大学、ミンスク国立言語大学

特産品：リネン、クリスタル、



ベラルーシ共和国データ



独立年月：1991 年 8 月

人口：約 964 万人(2012 年)

国連加盟年月：1945 年 10 月（旧ソ連の白ロシア共和国として加盟）

首都：ミンスク

面積：207,600km² （日本比約 55%）

ユネスコ登録文化遺産：

ベラヴェージュスカヤ・プーシャ国立公園

第1回事前研修 平成25年6月23日(日)

仙台市とミンスク市の交流の歴史について、宮城・ベラルーシ協会の佐藤司さんからご紹介頂きました。自己紹介なども行いましたが、まだ実感がわいていない様子で、終始緊張した様子での研修となりました。
事前研修終了後は、来仙中のミンスク第19番学校の子供達との交流会に参加し、ゲームなどをして交流を深めました。



第2回事前研修 平成25年7月13日(土)

ラトビア出身のアリーセ・ドンネルさんにロシア語ワンポイントレッスンをしていただきました。簡単な挨拶、自己紹介を学習しました。また、2011年のミンスク青少年訪問団参加者の外崎優花さん、菱沼隼人さんから当時の体験を話して頂き、団員達は同年代の話に熱心に耳を傾けていました。

第3回事前研修 平成25年7月20日(土)

仙台在住のベラルーシ人・菅原アンナさんによる「ベラルーシの生活と文化について」を写真を交えながらご紹介頂きました。初めて知る生活や文化にみなさん興味津々でした。後半は、現地で日本文化を紹介するイベント Day of Japan の準備や、お礼に披露する歌やゲームの準備をしました。

仙台市 奥山市長への表敬訪問 平成25年7月23日(火)



事後研修 平成25年8月24日(土)

SIRA のラジオ番組用に、今回の訪問の感想を団員一人ひとりにインタビューしました。滞在中に宿泊施設の入所式で覚えた、ロシア語の決意表明も全員で発表し、インタビューを締めくくりました。



日程表①

	日付	時間	場所	移動手段	行 程
1	8月1日 (木)	6:40 8:05-9:00 11:15-16:00 20:35-23:25 0:00	仙台空港集合 仙台⇒成田 成田⇒ウィーン ウィーン⇒ミンスク	飛行機 NH3232 OS052 OS689	仙台空港 全日空にて成田空港へ オーストリア航空にてウィーン空港へ 所要:11:45 乗継時間:4:35 オーストリア航空にてミンスク空港へ 所要:1:50 合計:18:10 空港内にて伝統的な歓迎セレモニー レクリエーションセンターへ移動、就寝
2	8月2日 (金)	午前 午後 夜	レクリエーションセンター ミンスク市内 レクリエーションセンター	専用バス	レクリエーションセンター施設案内 ★ミンスク19番学校訪問 歓迎セレモニー 伝統人形等の手作り体験 ★ベラルーシ国際文化友好協会訪問 フルンゼンスキー地区パフォーマンス集団の歌や踊り鑑賞 「上を向いて歩こう」合唱発表 レクリエーションセンターへ移動 伝統的な藁の人形手作り体験
3	8月3日 (土)	午前 午後 夜	ミンスク市内 レクリエーションセンター	専用バス	★ベラルーシ史跡文化遺産、ストローチツツ建築文化博物館視察 ★ミンスク州青少年宮殿訪問 施設内見学、ステージ鑑賞 ★ショッピングモール「ストリッツァ」にて買い物 レクリエーションセンターへ移動 アクティビティ参加（ディスコ、卓球、バスケ等）
4	8月4日 (日)	午前 午後 夜	ミンスク市郊外 レクリエーションセンター	専用バス	★世界遺産 ミール城見学 ★博物館見学、世界遺産 ニヤースヴィシュ城見学 レクリエーションセンターへ移動 アクティビティ参加（ディスコ、卓球、バスケなど）
5	8月5日 (月)	午前 午後 夜	ミンスク市郊外 レクリエーションセンター	専用バス	★はちみつファーム（農具博物館、おおかみ見学施設併設）訪問 レクリエーションセンターへ移動 休憩 レクリエーションセンターの入村式参加 ロシア語の決意表明 Day of Japan準備、アクティビティ参加（ディスコ、卓球、バスケ等）
6	8月6日 (火)	午前 午後 夜	ミンスク市内 レクリエーションセンター	専用バス	ミンスク市へ移動 ★ミンスク市役所表敬訪問 市内見学（仙台公園散策） レクリエーションセンターへ移動 ”友情の虹”プログラム鑑賞 ベラルーシ伝統文化等体験（将棋、指人形作り） Day of Japanの準備、アクティビティ参加（ディスコ、卓球、バスケ等）

◎ ★印は訪問した施設、場所

◎ ディスコとは野外の広場でフォークダンス等、様々なダンスを楽しむアクティビティ

日程表②

	日付	時間	場所	移動手段	行 程
7	8月7日 (水)	午前	レクリエーションセンター		* Day of Japanの日 * (日本文化、ゆかたのきつけ等の発表)
		午後			休憩
		夜			”ロドニチョックの星” コンサート鑑賞 アクティビティ参加 (ディスコ、卓球、バスケ、バレー等)
8	8月8日 (木)	午前	レクリエーションセンター		ミニ運動会 日本 v s ベラルーシ (綱引きなど)
		午後			休憩
		夜			フェアウェルパーティー前半 「また会える日まで」合唱発表 フェアウェルパーティー後半 ミンスク滞在中の写真スライドショー鑑賞、荷造り
9	8月9日 (金)	2:30 5:05-6:00 13:30	ミンスク⇒ウィーン ウィーン⇒	専用バス OS690 OS051	レクリエーションセンター出発 オーストリア航空にてウィーンへ 所要:1:50 乗継時間:7:30 オーストリア航空にて成田空港へ 所要:11:10 合計:20:35
10	8月10日 (土)	7:40 10:00-11:05	成田 成田⇒仙台	飛行機 NH3231	成田空港着 全日空にて仙台空港へ 解散

◎ ディスコとは野外の広場でフォークダンス等、様々なダンスを楽しむアクティビティ

■ 宿泊先：レクリエーションセンター (ロドニチョック)

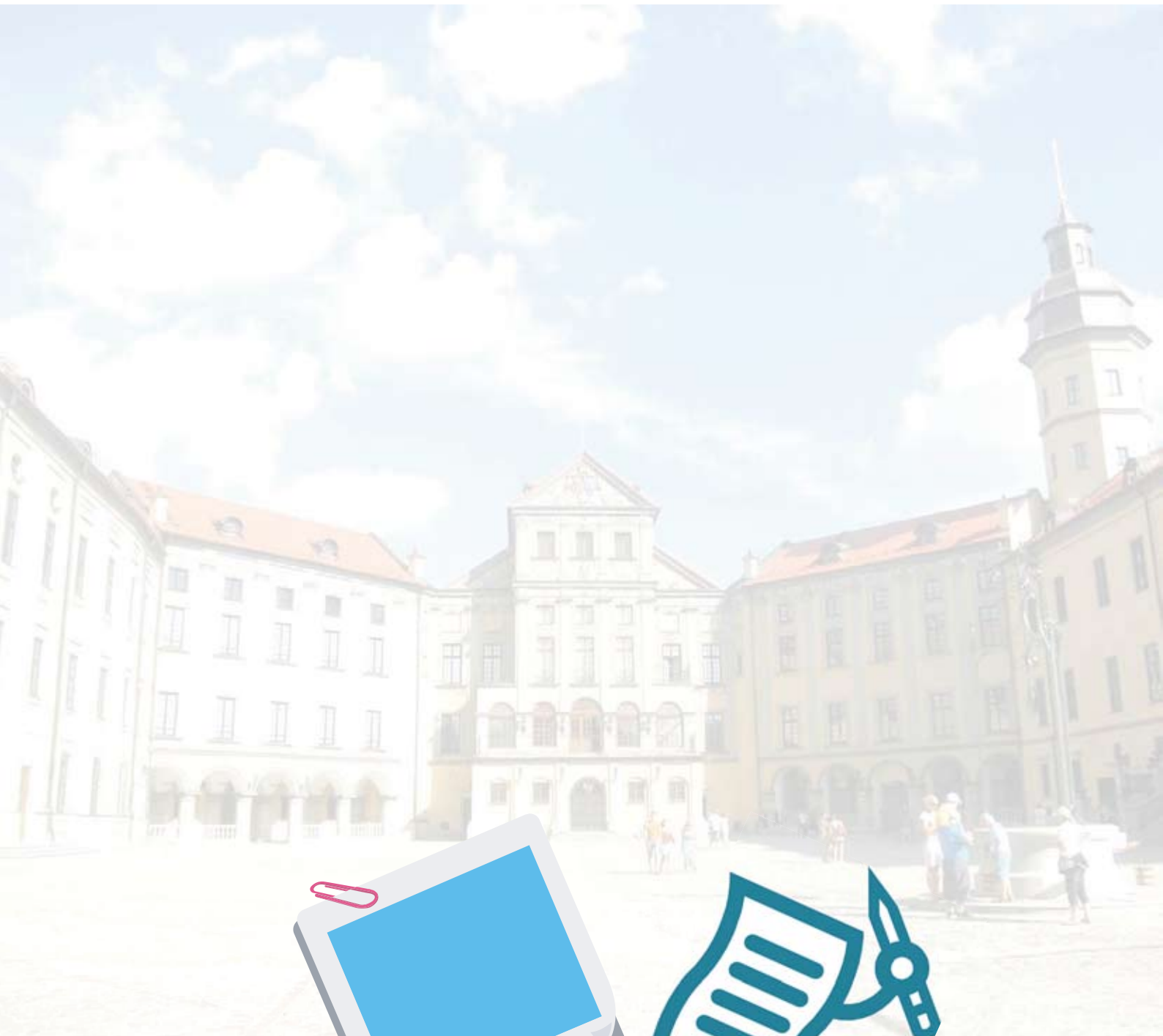


館長のタチアナさん ⇒



ミンスク国営通信会社「ベルテレコム」が保有するレクリエーションセンター。ベラルーシの子供達は約3か月の夏休みをこのような施設で過ごします。夏は日没が遅いため、毎晩野外で野外ダンス、バレーボール、サッカー等、雨天時は伝統工芸作り体験等を楽しめます。訪問時は約240名が滞在していました。

団員レポート & フォトギャラリー



森と湖のまち・ミンスク青少年訪問団 報告書

仙台三高 藤田真帆

1 day

6:40 仙台空港
8:05 国内線
9:00 成田→ウィーン
11:15
16:00
20:35 ウィーン→ミンスク
23:25
23:40 到着
00:30



長時間のフライトと乗り換えで ハトハト...。
到着は深夜でした！

2 day

13:00
16:30



19番学校訪問！

今年仙台市に訪問した子と"も"たちもいました！

パフォーマンス集団のステージプログラムはどれも素敵でした！



16:30
18:00

ベラルーシ国際文化
友好協会での歓迎会



感想

予想以上の歓迎に、とても驚きました。
本当にありがとうございました。

~1日目~



2日目 (8月2日)

I♥Minsk 鈴木 ひかり

スパシーバ☆

1日目、みんな3~4時くらいに就寝したため、2日目は10時から朝食そして午後から活動でした。

ミンスク19番学校



歌の歓迎から始まり、その後ミンスクの歴史や動物愛護・

などのお話を聞きました。

昼ご飯は19番学校
の生徒と食べました。



そしてその後
伝統人形を作りました。



感想

この10日間、現地の人とコミュニケーションを
とったり、ミンスクの伝統にふれたりすることか
でき、とても楽しかったです。タイスコなど
日本とは全然ちがう文化で最初はとてもど
いしましたが、とても素敵な時間になりま
した。現地の人はとても面白く優しい
人ばかりでみんなと笑顔で過ごしたこの
時間を忘れ

せん。いつかまた
ミンスクへ行き、
みんなと
会えたら
いいな☆



フレンゼンスキ地区

パフォーマンス集団のステージプログラム



~2日目~



BELARUS

REPORT

8/3 sat.

宮城県泉館山高校 2年

佐藤 汐音

* ベラルーシ史跡文化遺産・スロチツ建築文化博物館

昔の人々がどのような生活していたのか、実際に使われていた家や学校を見ることになりました。①の写真の赤く囲いにある部分の下には、その家で「番台」の人が座って食事をするきまりがあるそうです!!

①



②



③



* ミンスク州 青少年宮殿

②のベラルーシとミンスク市の旗が飾ってありました。ここで昼食をとったあと、剣や盾がたくさんある部屋へ行き、ダンスを見て実際に仮面や盾などに触れることができました。(写真③) ベラルーシの伝統的な刺繍やワラで作られた手作り品も見せていただき(写真④)、ホールでの歌やダンスの発表も見る事ができました。その中でみんながダンスをしたりもしてとても楽しめました!(写真⑤)

* ショッピングセンター ストリッツァ

地下3階建ての大型ショッピングセンターです!(写真⑥) いくつかのグループに分かれてそれぞれおみやげを買いました! ⑥マトリョーシカを買っている人が多かったです。アイスが人気ようでアイス屋さんがたくさんありました。寿司屋さんもありました~!



⑤



ツアーを振り返って

私は今回このツアーに参加して本当によかったなと思っています。ミンスクではどしどしヘリテージも現地の方々も温かく歓迎してくださり、10日間感動の連続でした。

宿泊したロドニョックではみんなが「Hello!」と手を振ってくれ、本当に嬉しかったです! 夜にあるdiscoは最初は不安もありましたが、みんなが手を引っ張ってくれてそんな気持ちはすぐになくなり毎日の楽しみになっていました。ミンスクの方はダンスが上手で驚きでしたが、一緒に踊ることができて幸せでした! discoをしながら会話をしたあの時間は宝物です♡

ミンスクで出会った方々には感謝しきれないほどです。この10日間は本当に楽しくて幸せで夢のような毎日でした。そのため別れは辛かったです。ですが、私は必ずまたミンスクに来ると決めました。このツアーで将来、国際関係の仕事をしていようと改めて思うことができましたし、貴重な体験とかげがたない思い出ができました!!! ミンスクのみなさん、守さん、橋さん、団員のみんな、大好きです。そしてベラルーシ、ミンスクが大好きです! ありがとうございます

Спасибо♥ Я люблю Беларусь♥



~3日目~



4日目 part1



Мірскі замак

玉田 南

ミール城

Очень
красивый!
(It's very beautiful!)

伝統的衣装!!



なかに入ると
こんなかんじ。



建物内は
靴にカバーを
つけます。

ミール城は、2000年に登録されたベラルーシの文化遺産です。

15世紀末から16世紀初めにかけてミール村付近ゴシック様式の城として建設されました。1568年に城はリトアニア大公国の大貴族であるラジヴィウ家の手に渡り、ルネサンス様式の城として完成させました。その後、城は放棄され更にナポレオン戦争で損傷を受けましたが、19世紀末には修復を受けたそうです。第二次世界大戦の間、城はドイツ軍に接收されユダヤ人の強制収容所として使用されました。

10日間を振り返って...

ベラルーシの人々はみんな優しく、私たちをととてもあたたかくむかえてくれました！このミール城のほか、様々な建築物をみたり、現地の子どもたちと交流したりと、幅広く充実した訪問をさせていただいて、本当に楽しく、たくさんのことを学ぶことができました。

Я люблю Минск♡

(I love Minsk♡)

ベラルーシ研修4日目午後

竹内 匠平

4日目の午後、私たちはこの日2か所目の訪問地、ニャースヴィシュ城に行きました。

第一印象は、午前中に訪れたミール城よりものどかな感じでした。というのも、ミール城は堅固な要塞といった感じでしたが、ニャースヴィシュ城は、城門を入ると中世の城下町のような広場と建物が広がっていて、平和な時代の貴族の居城なのかなという印象でした。

お城の中で、私たちは展示室で弦楽器、礼拝堂でピアノとフルートの生演奏を聴くことができました。特に礼拝堂の演奏は、とても心に響くものでした。礼拝堂の構造は、音が共鳴し合うようにできているので、圧巻でした。

最も私の心に残ったのは、囚人を収容する部屋と礼拝堂とが、金網でつながっていたということでした。囚人であっても、礼拝に参加するという人権が守られていて、神を賛美することを妨げはしなかったということに感動しました。

天井には聖母マリアの絵があり、講壇にはイエスの像があったので、この城に住んでいた貴族はギリシャ正教ではなくてカトリックの信徒であったのだと思いました。

このようにして、私たちは世界遺産であるミール城とニャースヴィシュ城で、かつての貴族たちの生活に触れてきました。



ツアーの感想

10日間という短い時間を私たちはたくさんの人に支えられてきました。そのおかげで、私はことを多くの学ぶことができました。また、たくさんのベラルーシの方々とも交流をして、充実した10日間を過ごしました。ミンスクの方々の暖かい歓迎によって私は、ミンスク、また私たちが泊まったロドニョックが大好きになりました。これらの学びと経験を、これからの自分の人生に繋げていけたらいいと思います。

このベラルーシ訪問に携わってくださった方々、本当にありがとうございました！



~4日目~



ミンスワ旅行記 August 5th



はちみつファーム

★見学★



私達はこの日、まず始めに、はちみつファームへ見学に行きました。

日本では滅多に見られないようなオオカミを見たリ、ビーバー(本物!?)を見たリ... (はちみつファームにははち以外にもたくさんの動物がいました!!)



実際に試食♡
とても甘くて
おいしかった!



このオオカミは、
チョコレートの香りが大好き♡
珍しいオオカミに
出会うことができました。

思わず泣いてしまう人やテレビの取材を受ける人もいて、大はじけの見学でした。
しかし、はちみつファームの方がジョークを言いながらおもしろく説明してくれて、みんな楽しい時間を過ごしました。



はちが寄って来ないようにするため、煙をかけてもらっているところ。
長時間においかわります(笑)

はちみつファームでは、はちと格闘レフ(?) 豊かな自然を堪能しました。テレビを通して見たことはあるのですが、あんなにたくさんのはちを見たのは初めてだったので正直怖かったです。いつも笑顔で説明してくれたおじいさんは本当にすごいと思いました。

新セッションの開会式

はちみつファーム見学後、ロドニチョックに戻って少し休憩したら新セッションの開会式。



時間のない中でしたが、一生懸命セリフを覚えめました。

その後はロドニチョック主催のコンサートのようなものを行い、とても盛り上がりました。

ミンスワの子供達は歌もダンスもレベルが高くて驚きました。



ミカマンダ
イズメンタ...



仙台青陵中等教育学校
佐伯 美郷

個性的な動物がたくさんいて、とても楽しかったです。
はちみつファーム最高!!



10日間を通して...

ミンスワのちは、とてもフレンドリーで、緊張気味で何もわからない私達にたくさん話し掛けてくれました。おかげで、充実した滞在にすることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今回できた友達と今後も交流を続けたいと思うし、大人になったらまたミンスワに行きたいです。

Спасибо♡♡

~5日目~



AUG

6th

三輪 侑紀



市役所では、市長さん、副市長さん達の前で、自己紹介をしました。
市役所内の案内では、ミンスワの街がでる歴史なども学びました。

仙台のお土産を渡しました。
ベラルーシの形ももらいました。

みんな真実に説明を聞いています。

市役所訪問

ミンスワ市内観光

ミンスワは戦後に失った昔ながらの歴史的な建物を取り戻すために、新しくキレイな建物ばかり。



「せんだい」と書いてあります(笑)



3.11の震災後折鶴やメッセージなどが置かれました。公園内には日本庭園のような所があり、桜の木もあります。春にはお花見ができるそう。

時計の表と裏で ミンスワと仙台の時間が分かります(笑)

赤の教会

正式名称: 聖シモン・聖エレナ教会
1852年にカトリックからロシア正教へ変化したそうです。長崎から贈られた鐘が記念碑として飾られています。

独立広場

レーニン像がドカーン
地下には巨大なショッピングモールがあります。



国立図書館

ダイヤモンドのような形をした近代的な図書館

仙台公園

友情の虹

私達の泊まったロビー・チョックでは、みんながいろいろなパフォーマンスをしてくれました。



今回のツアーでは、一週間という短い期間でしたが、たくさんの方の優しさや温かさにより、文化を学ぶことができました。本当に感謝しています。ベラルーシが、そしてベラルーシのみんなが大好き(笑)それだけに、お別れはすごく悲しかったです。でも、このツアーが素敵な出会いとなり、新たな交流のきっかけとなりました。今回築いてきた絆が、姉妹都市交流を深める一端になれば嬉しいです。ミンスワが姉妹都市で良かったです。ベラルーシの良さを多くの人に教えなければ!と思います。絶対またベラルーシに行きたいです。そして、このツアーを忘れません。お世話になった方があまりに多くて書ききれませんが、今回のツアーを計画してくれたみなさん、いつも同行してくれたみなさん、仙台市や国際センターのみなさん、ありがとうございました。Cnacubo!



おもしろい説明をありがとうございました

ロビー・チョック大好き

ベラルーシが大好き

ベラルーシのみんなが大好き

いつも同行してくれてありがとう

いい思い出です、ありがとうございました

日本語が分かるのがいい

すてきな写真をありがとうございました

ミンスク市役所は、市役所とは思えないほどきれいで大きな建物でした。民族衣装を着て私たちを迎えてくれた女の子達がとてもかわいかったです。そして私たちはわらで作られている民族衣装を着た人形をいただきました。



レストランで食事をした後はミンスクの美しい街並みを散策しました。

戦争から復興を遂げた街並みは、とても美しかったです。そして空がとてもきれい！どこを撮っても絵にかいたような写真が撮れます。サーシャがミンスクで1番好きな場所です(笑)

市内には日本との繋がりを感じさせてくれるものはいくつかあります。代表例は仙台公園！仙台の時間とミンスクの時間、両国の時間を見ることができる時計や日本の庭園のような造りもありました。また広島、長崎、福島の土を入れたカプセルが埋められている場所もあり、ベラルーシと日本との歴史的繋がりも感じる事が出来ました。



ベラルーシには約 1 万 1000 の湖があります。車窓から景色を眺めていると、右を見ても左を見ても湖ということもありました。そして少し街中から離れると牛や馬羊が放牧されていたり、とうもろこし畑が広がっていたりと、ベラルーシの自然豊かさときれいな街並みとの両方を楽しむことが出来ました。

<感想>

私は今回の訪問に携わって下さった現地の方々の温かさに心から感動しました。私たちが空港に着いたのは夜の 12 時を過ぎていましたが、たくさんの方に温かく迎えていただきました。様々な場所を訪問する度に温かい歓迎をいただき、感謝で胸がいっぱいでした。毎日の活動を支えてくださった方々、愛情たっぷりで接してくれたロドニョックの館長さんのタチアナさん、活動のサポートをしてくれるうちに仲良くなった大学生の方々、プライベートで私たちの買い物をしてくださったスウェトラーナさんや聞き取りやすい英語で話しかけてくれる優しいユジンさんなどの市役所の方々、10 日間バスの中でも勉強して、一生懸命通訳をしてくれたエゴールとサーシャ…ここには書ききれないくらい私たちはほんとうにたくさんの方にお世話になりました。私はそんなみなさんへの感謝の気持ちを忘れることはないと思います。また、たくさんの友達も出来ました。すぐに会うことはとても難しいですが、いつか絶対会えることを信じています。私は今回の訪問でミンスクが大好きになりました。そして、ミンスクと仙台の交流の懸け橋になりたいと強く思いました。ミンスク市青年訪問団の一員になれて、心から幸せです。ありがとうございました。



~6日目~



7日目

Day of Japan

お豆



私たちはハラルーシの子供達に"はし"を使って「豆つかみ」を
してもらいました。最初ははしを使うのに苦労していましたが、
最後にはみんな笑顔で楽しんでくれました。



おもちゃ

けん玉、紙ふうせん、だるまおとし
で現地の人と
遊びました。

けん玉が
とても
人気でした。



MEMBER

菅智佳

菊地彩夏

鈴木ひかり



感想

豆つかみでははしでしゃかりつかめていてすごいなあと思いました。
紙ふうせんではみんなが車輪になって、遊んでいたのので、
すごくたのしかったです！
日本の文化を紹介するところができて良かったです！

Day of Japan

calligraphy



佐藤 汐音
竹内 匠平
藤田 真帆



私たちのグループは「仙台」「桜」「日本」
「友情」「人生」のちっを書いてもらいました。
カタカナで名前も書いてもらいました。
思っていたよりも人気があって、みんなに
喜んでもらえて嬉しかったです!!!



折り紙

Day of Japan

ОРИГАМИ

高橋 郷

☆ 佐伯 美郷 ☆



NYAAAA



13歳
アルトル



ろあっし



AHHA



まるがいた

感想

ミンスクの子供達に楽しんでもらえるか不安でしたが、みんな一生懸命作ってくれてうれしかったです。また、漢字が人気でした。ハートを折った子には“愛”猫には“猫”と書いてあげると、とても喜んでいました。

着付けとお菓子

☺ MEMBER

勝又 日路 玉田 南

高橋 澄香 三輪 侑紀



着付けを待っているあいだ、
日本のお菓子を食べてもらったり、
プリクラや雑誌をみせて
もらいました。意外に抹茶味の
お菓子が一番人気でした。

浴衣の着付けをしておいて、
かつんかっチェキをとりました！
とったチェキをプレゼントすると
みんな喜んでくれました。



☺ COMMENT Day of Japan[♡]

着付けでは、直射日光のなか、汗だらだらで大変でしたが、その苦味
以上に、達成感や感謝の言葉がうれしく、やってよかったなと思いました。
ベラルーシの子供たちと素敵な時間を過ごせました。スッピーバ！！

~7日目~



2013 ミンスワ青少年訪問団

報告書

8日目

仙台二華高等学校

高橋 澄香

午前には運動会と、黄人形づくりがありました。
運動会にはオリンピックという
仙台チームは接戦の末、1点
差で勝利。勝利は
縄引きでの団結力です！



午後はさよならパーティも。
和太鼓はゆずり「和太鼓
日だ」を歌いました！
盛大な拍手をもらい感動。
ちなみは浴衣で参加しました。

黄人形づくりでは、
黄色の汁に戸惑い
ながらも、不器用な
れも「人」をつくることが
できました。



ミンスワに滞在できる
最後の日。
出発が近づくとつれ、寂
感が湧いてきて悲しくなりました。

ロドニョックのみんなと
もっと一緒にいたかった！



さよならパーティの後は、友だち
といっしょに木にリボンを結びました。
この友情が長くつづくとを願いなが
ら、別れの奥感がゆいてきて寂しく
なり、みんなと写真を撮ることを繰り返しました。

出発の前、ボランティアエ
ンジェルと呼ばれてついで行くと...

今までワニさんが撮ってくれた写真
がスクリーンに流れて、終わった頃
にはみんな号泣。バウレーシのボランティアさん



そして最後の
ダンス。楽しく
大勢でダンス
もこれで終わり。
あっという間に
2時間過ぎ
ていきました。

たちが和太鼓のために準備してくれていました。

さらに別れがつかない、「もう一泊
いい人？」と聞かれ、泣きながら全員挙手。
でもそれはいかず、
みんな出発の2:00すぎまで寝ず
別れを本当に惜んでいました。



「リアーを通して...

手バウレーシに行きたい
いから思っています！！

スパシーバ

この10日間、といってもミンスワにいたのは7日間ですが、
とてもあっという間でした。非常に楽しい10日間で、ミンスワに
ついて知れたことはもちろん、いっしょに行った仲間やロドニョック
で出会った友だち、すべての人との出会いが素敵なものでした。
心に残る素晴らしい経験は初めて、一生忘れることができません。

この体験を自分の夢へと生かしていきたいと思います。
今回の企画に携わってくれた人たちに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



~8日目~

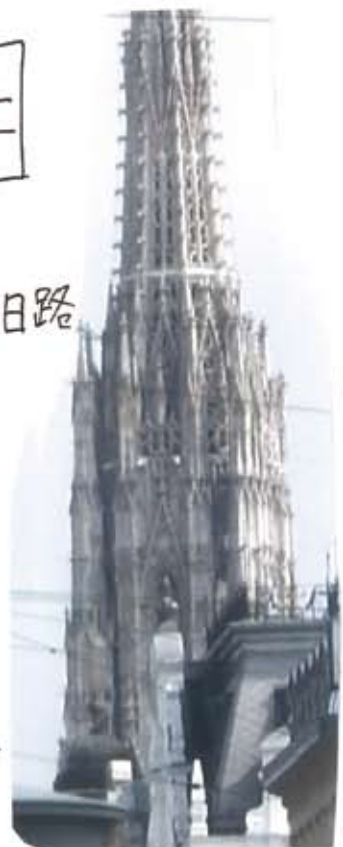


9日目, 10日目

泉松陵高校 一年 勝又日路

9日目はウィーン市内観光をした。
調和のとれた清潔感のある街で、仙台
と同じように自然は豊かだった。
当日の天気はくもりで、日差しが強か
った連日と比べると過ごしやすい一
日となった。

有名なウィーンの
オペラ座。その日は建物の
都合で入ることができな
かった。残念!



この宮殿ではバロック時代の
文化を見ることができた。
とても豪華なつくりで財力
があったことを実感した。
庭園の手入れも行き届いて
おり、リスなどの野生動物
もいた。

訪問を終えての感想



この訪問をするまで「ベラルーシ」という
国についてまったく知らなかったが、
話を聞いていくうちに日本や近くの
国々との関係も分かってきた。
私は少し人見知りだったから、
自分から現地の人々に話しかけるこ
とができていい経験になったと思う。



02.08.2013 23:08 Войдите или зарегистрируйтесь, чтобы отправлять комментарии 1363 просмотра

Новости Беларуси На каникулы – в Беларусь. Школьников Сендая, города-побратима Минска, вновь пригласили на уроки по культуре и быту белорусов.

Уже третий раз у нас проходит Международный профильный лагерь для подростков из Японии. Пока путешественники знакомятся со столицей, позже их ждет экскурсия в Несвиж.

К слову, в этом году и минские гимназисты побывали по программе культурного обмена в Сендае.

Мимори Сигехиро, посол Японии в Республике Беларусь:

Такое отношение между Минском и Сендаем мы оцениваем высоко, потому что уже 40 лет они общаются, обмен делегациями и так далее. И это не очень просто. Нужна энергия.

<http://www.ctv.by/novosti-minska-i-minskoy-oblasti/shkolniki-iz-yaponii-priehali-na-kanikuly-v-belarus>

日本語訳(一部抜粋)

ミンスク市に姉妹都市の仙台市から青少年が訪問しました。3 年連続 3 度目。ミンスク市内や世界遺産などに訪れます。ベラルーシの青少年も今年 6 月に日本に訪問しました。

日本大使: 交流を続けてきて今年で 40 周年です。難しいことも沢山ありますが、エネルギーを合わせて頑張りましょう。



■ミンスクニュース ベラルーシ紙 ホームページ

<http://minsknews.by/news/2013/08/06/karp>

Минск принимает детей из Сендая в третий раз. Сейчас в составе делегации 12 школьников, которые пробудут в Беларуси до 9 августа.

- Такие визиты помогают лучше узнать друг друга, обогащают знаниями о другой стране, - отметил И. Карпенко.

Заместитель председателя Мингорисполкома поблагодарил посла Японии в Республике Беларусь Мимори Сигэхиро за поддержку тех инициатив, которые существуют между Минском и Сендаем.

- Это часть той большой межгосударственной работы, которая проводится между нашими странами. Мы заинтересованы в дальнейшем развитии всесторонних отношений между нашими городами, - сказал И. Карпенко.

В свою очередь представитель японской делегации, заместитель председателя сендайского центра международного сотрудничества Мори Сюичи, высказал слова благодарности за радушный прием, интересную программу пребывания и возможность отдохнуть в лагере «Родничок».

После встречи для японских детей была организована экскурсия по ратуше.

Напомним: в нынешнем году исполняется 40 лет побратимским отношениям между Минском и Сендаем.



日本語訳(一部抜粋)

仙台市の青少年がベラルーシに訪問し、ミンスク市副市長に表敬訪問しました。3 年連続 3 度目。

副市長: このような交流がとても大切です。国の人を知るとその国をもっと知ることができる。日本大使の三森重弘さんにもご協力頂きましてありがとうございました。

守修一さん: ベラルーシ・ロドニチョックで温かい歓迎を受けて楽しい時間を過ごしています。ありがとうございます。

Our memory not to forget
throughout the life

✧✧ Discovery in Minsk

① ミンスクの食事には、**トマト・**
パプリカ・キュウリが必ず!!

② トイレは**有米斗!!**
※ヨーロッパでは当たり前のようにです。

③ 人が**あたたか..!**

・感想

・ ミンスクの空港に着くとたかエミの方が、
暖かく迎入れてくれて深く感動しました。(南や 彩夏)

・ ミンスクでの食事には規則性があり

驚きました。じゃがいものパンケーキには

必ずサワークリームを付けます!

パプリカ・キュウリ・トマトの3点セットが

今では恋しいです...♡ (菅智佳)





ミンスク市内

ショッピングセンター

市内のカフェ

バス車窓からの風景

田舎道

ミール城

ミール城内部

ミール城内部

ニャースヴィシュ城

ニャースビッシュ城近くの湖

ニャースヴィッシュ城内部



3食ともテーブルサービスがあり、一品ずつ運んでくれました。サラダは生のきゅうり、パプリカにハム等が多く、ドレッシングの代わりに、粒マスタードを付けて食べることが多いです。



きゅうり、ハムの角切りにサワークリームがかけられています。サワークリームを使う料理が多いです。



いくらがトッピングされた2皿。おなじみの味です。



グリーンピース、コーン、ゆで卵の前菜。とてもシンプルなお味です。



デザートゼリーやパバロア、レモンやオレンジの形をしたゼリー菓子。甘さ控え目です。



じゃがいもを使った料理は、バリエーション豊富で、いろいろな味が楽しめます。ベーكدポテト、パンケーキ、など・・・。

訪問中お世話になった方々①



Mr. Igor Karpenko

Deputy Chairman of the Minsk City Executive Committee

ミンスク市 イゴール カルペンコ副市長

Minsk City Executive Committee
ミンスク市



Mr. Vasily Panasyuk

Chairman of the Minsk City Council of Deputies

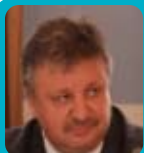
ミンスク市議会 ワシリー パナシユク議長



Mr. Boris Vasilyev

Head of the Fruzensky district administration

フルゼンスキー地区 ボリス バシーリエフ区長



Mr. Oleg Zhoglo

Head of the Zavodskoy district administration

ザボツコイ地区 オレグ ジョグロ区長

Committee for Education of the Minsk City Executive Committee
ミンスク教育委員会



Ms. Svetlana V. Adasko

Chief specialist of Department of Protocol and Foreign Relations

ミンスク市 儀典・外交部

スペトラーナ アダシコさん



Ms. Tatyana A. Borodinetz

Chief specialist of Department of Protocol and Foreign Relations

ミンスク市 儀典・外交部

タチアナ ボロディニェツさん

Minsk State Palace for Children and Youth
ミンスク青少年宮殿



Mr. Mikhail Mironchik

Chairman

ミハイル ミロニチク委員長



Ms. Galina Shklyar

Director

ガリーナ シュクリャール館長



Mr. Vitaly Prigodich

Deputy Chairman

ヴィタリー プリゴディチュ副委員長

Ms. Saida Vafina

Deputy Director

サイダ ヴァフィナ副館長



Ms. Anna Rysevets

Head of the Division of Educational Work
育英事業局 アンナ リセヴェツ局長



Ms. Inna Bilichenko

Manager of the Advertising Sector
広告部 インナ ビリチェンコ部長



Ms. Nadezhda Velikaya

Deputy Head of the Division of Educational Work

育英事業局 ナゼージュダ ヴェリカヤ副局長



Ms. Anna Kayurova

Manager of the International Cooperation Sector

国際協力部 アンナ カユロヴァ部長

訪問中お世話になった方々②

その他の機関

Mr. Vladimir Karpovich
General Director of the Mobile
TeleSystems (MTS) – the leading
mobile operator of Belarus
ベラルーシ電話通信会社
ウラジミール カルポヴィチ本部長

Mr. Gennady Melnikov
Deputy director of the
republican unitary enterprise
“Beltelecom”
「ベルテレコム」
ゲンナディー メルニコヴ副部長

Ms. Svetlana Yurkevich
Deputy director of the republican
unitary enterprise “Beltelecom”
「ベルテレコム」
スベトラナ ユルケヴィチ副部長



Mr. Anatoliy Murauey
Director of the Gymnasiom 19
第19番学校 アナトリー ムラウヨウ校長



Ms. Tatyana Lazareva
Director of the recreation center “Rodnichok”
レクリエーションセンター「ロドニョック」タチアナ ラザレヴァ館長



Ms. Galina Petkevich
Vice Chairman of the Belarusian Society for Friendship and Cultural
Relations with Foreign Countries
ベラルーシ国際文化友好協会 ガリーナ ペトゥケヴィチ副館長

通訳・ボランティア・他



Mr. Egor Borisov
通訳 エゴールさん



Ms. Sasha Ikhnenko
通訳 サーシャさん



Ms. Katya Mikhnevich
通訳 カーチャさん



Ms. Karina Sevruck
通訳 カリーナさん



Mr. Ivan Prishchepo
19番学校(写真) ワニャさん



Victoriaヴィクトリアさん
タチアナさんの娘



Mr. Eugene Kedrun
元ミンスク市職員 ユジさん



Vitana
19番学校 ウイタナさん



Kirill
19番学校 キリルさん

同行者からのメッセージ

昨年、一昨年に続き、3年連続で実現したミンスク市への青少年訪問団。過去2年の情報をもとに準備をしてきました。ベラルーシは訪れたことがなく、引率者として多少の不安がありましたが、ミンスク空港到着後、そんな心配はなくなりました。たくさんの人々の温かい歓迎を受け、すべてお任せしよう、と気持ちが楽になりました。6月に仙台市を訪れたミンスク訪問団の顔が見られた安心感も大きかったと思います。

ミンスク市はとても綺麗な街で、美しい建築物が並び、郊外の道はまっすぐ伸び、その両側には黄金色の麦畑や緑の木々がどこまでも続いています。どこを撮ってもポストカードになりそうな“絵になる”風景が続いていました。

ベラルーシの人々は歌や踊りで歓迎の気持ちを表現してくれることが多く、ミンスクの子供たちのパフォーマンスを何度も楽しませてもらいました。小さい頃から、人前で歌や踊りを披露することに慣れ、フレンドリーなミンスクの子供達は、積極的に日本の子供たちに話しかけ、交流のきっかけを作ってくれたように思います。その一方で、恥ずかしがり屋の一面もあり、日本人と通じるものがあるようにも感じました。

滞在中、私達団員14名の訪問に際し、いったい何人の人々がかかわってくれたのだろうか？とふと頭をよぎりました。受け入れる準備をしてくださったミンスク市関係の方はもちろん、訪問先で出会った方、歌や踊りを披露してくれた子供達、宿泊施設の方、バスでの移動の際に同行してくれた警察官、救急隊員、通訳や写真、お手伝いのボランティアの方など、三桁の人数になるのは間違いのないところです。その全員がここから歓迎してくれている、と実感できる滞在でした。素晴らしい夏のひと時を過ごすことができました。

最後になりましたが、仙台市側の関係者の皆様にも御礼申し上げます。

ありがとうございました！



公益財団法人 仙台国際交流協会
総務企画課 企画係 椿 栄子



仙台からの訪問団はお揃いのTシャツを作りました。背中の「感謝」の文字とピンク色は団員からのアイディアです。胸にあるマークはミンスクで幸運を運ぶ象徴とされている「鳥」、日本の象徴として「桜」、伊達政宗の兜から「月」、をイメージして姉妹都市提携 40 周年記念事業のシンボルマークとして仙台国際交流協会の職員が作成しました。

ミンスク市の関係者にはブルーのTシャツをプレゼントし、訪問団の滞在中着用していただきました。

2013 年ミンスク青少年訪問団 Tシャツ（訪問団用）



FRONT



BACK

2013 年ミンスク青少年訪問団 Tシャツ（ミンスク関係者用）



FRONT



BACK

Tシャツデザイン・ミンスク訪問団担当：竹中綾乃
（公財）仙台国際交流協会 総務企画課 企画係



思い出のロシア語・・・

宿泊施設のロドニチョック入所式で全員で発表した決意表明



＜ロシア語＞

ミ カマンダ イズ センダヤ

ハラショ ヤポンスキ ズナイエム

ヴ ベラルシ ウァス ウィタエム

ダ センダヤ ザ プラシャエム

＜意味＞

私たちは仙台から来ました。

この中で一番日本語が上手です。

ベラルーシで沢山の人と会いました。

仙台にも是非来てください。





森と湖のまち・ミンスク 青少年訪問団 報告書

【編集・発行】 公益財団法人 仙台国際交流協会
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内
TEL : 022-265-2480 FAX : 022-265-2485
HP : <http://www.sira.or.jp>